

事業計画書

1. 事業名称 世代間交流の場・トキ塾

2. 実施主体

■ 団体名： 常盤平地域活性隊

■ 事業担当課： 常盤平支所

3. 取り組もうとする課題

昨年度に引き続き、世代間の交流も含め、出来るだけ多くの住民が参加できる、地域住民交流の場として住民参加型学習塾「トキ塾」を開塾し、高齢化の進んでいる常盤平地区活性化の一助とする。更に、「トキ塾」を通して、行政及び地元町内会・自治会・地域団体等をつなぎ、地域交流を深めることで、地域の活性化をより一層推進する。

4. 事業内容及びスケジュール

・事業内容

世代間の交流も含め、出来るだけ多くの住民が、いつでも好きな時に気軽に参加できるテーマを選び、講師と参加者が双方向的なコミュニケーションを図れる機会と場所を提供する。

昨年度は、年間15回実施し、述べ人数450人（平成22年8月末申請時の予想）であったが、今年度は、さらに開塾回数を年18回程度に増やし、より多くの参加者を募りたい。

	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
4月～6月 (3ヶ月で 6回)	定着した講座と新たな試みを半々程度で進めていきます	常盤平地域活性隊隊員を中心として地域住民を対象に商店街空き店舗を利用して行う。
7月～9月 (3ヶ月で 3回)	開催施設に空調がないため回数を半分に減らします	同上
10月～12月 (3ヶ月で 6回)	過去の状況を分析し住民がより参加しやすいものを実施します。	同上
1月～3月 (3ヶ月で 3回)	開催施設に空調がないため回数を半分に減らします	同上

5. 事業に期待する成果

「地域の活性化」という目標を具体的な数値で把握することは難しいが、「トキ塾」をより多くの住民に認知してもらう事、より多くの人に参加してもらう事が、一つの目安となると思われるので、各回 30 名、年間述べ参加人数 540 名を目標とする。

又、年度中には、地域住民へのアンケート等をお願いし、希望するテーマや、これまでのテーマや講座に参加しての満足度等も調査して事業成果を確認しながら推進する。

6. 協働の意義

昨年度も、協働事業者である松戸市（担当課：常盤平支所）の協力を得て、地域町内会との協議や広報活動を深めることが出来る等、今後とも、市との協働事業による信用力、広報力及び活動を継続的に実施していくための費用の支援が必要です。又、事業を通じて得られる住民の要望や課題等についても行政と情報の共有がはかれます。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

- テーマの企画・実施・結果整理、講師の選定
- 各種広報活動と参加者募集
- 事業やアンケート調査等を通じて得た、住民の要望や思考の把握とフィードバック

■ 担当課の役割

- 広報活動への協力
- 講座会場確保への協力
- 経費支援
- 町内会・自治会などとの交流活動の支援

8. 将来の展開

昨年度（事業初年度）については、前半は体制作りやテーマの選定、講師の確保等に時間を費やしたが後半は、ほぼ予定通り各講座を実施出来た。本年度は、参加者や住民の要望も反映した、テーマの選定や講座回数の増加により、より多くの集客に努力して、さらなる内容の充実を図っていきたい。将来的には、独自で効率的な事業運営と自己資金の確保により、自立した利用価値の高い地域住民のコミュニケーションの場となるよう発展させていきたい。

事業の予算概要

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

	（自己資金）	金 額	積算内訳
	提案者	参加費	54,000 円
寄付金		5,000 円	
自己資金合計（a）		59,000 円	
労力換算額計（b）		390,000 円	労力換算計算書のとおり
市		負担金申請額（c）	260,360 円
資金合計額（d）（a+c）		319,360 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項 目	金 額	積算内訳
負担金の交付対象経費	講座講師謝礼	180,000 円	10,000 円×18回
	講座資料作成	5,400 円	30部×2頁×18回×5円
	チラシ作製	90,000 円	1,000枚×5円×18回
	ポスター作製（大）	17,640 円	1枚×980円×18回
	ポスター作製（中）	4,320 円	1枚×240円×18回
	対象となる経費合計額（e）		297,360 円
その他経費	スタッフ通信交通費	10,000 円	5人×2,000円
	会議費用	12,000 円	5人×100円×24回
	その他経費合計額（f）		22,000 円
事業費（g）（e+f）		319,360 円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画	/	人数×時間×回数×500円
	運営会議（月2回）	120,000円	5人×2h×24回×500円
	チラシ作製	72,000円	2人×4h×18回×500円
	ポスター作製	108,000円	2人×6h×18回×500円
	講師との打合せ	36,000円	2人×2h×18回×500円
	講座の運営	54,000円	2人×3h×18回×500円
	合計（b）	390,000円	